

SHOJI KOJIMA FLAMENCO 2024

蒼
茫

さ
う

ば
う

(蒼茫は際限なく広く蒼蒼として深い意)

句集『蒼茫』を著した俳人 森 澄雄の言葉に
インスピレーションを受けたのが
今回の創作の原動力となった。

この言葉に通底する広く深い海。

そび
聳え立つ山々、蒼蒼と広がる大地を想起させる。

蒼茫へのイメージーションは沢山の幻想を
私に呼び覚ますモチーフとなった。

舞台芸術の世界に生きると言うことは
幻影と共に生きることでもある。

フラメンコの宿す大きな宇宙観は蒼茫を表現する手立てとなり、
大いに奮い立たせてくれるものである。



日々稽古場に立ちおもうことは、

研究と考察を重ね表現が鍛えられて行く時間の経過がとても愛おしく、

人生を振り返る原点にも想いを波及させてもくれる

時間へと繋がっていく。

舞踊は一代限りと我が身体を己の人生でのみ踊り抜くのだ

という定めのようなものが内在し続けているからだ。

あらゆる社会的属性を超越し、

肉体と精神の浄化を旨とする芸術の中に身を置き、

歓喜と苦悩の間で一滴ずつでもと書きためていく

舞踊のモチーフとなる言葉を書き続けながら、

人生から降りたくないと願いながら踊り続けてきた。

「舞踊家は自分の考えを貫き、精一杯を尽くして、

踊り続けるしかないではないか。」

フラメンコは不意に圧倒的美の極致へと誘ってくれる

大きな力を秘めている。

『この世は別世界でもあり、誰もが茫然自失する時が有るものだ』

海も山も過去も現在もゆらぎ、そこに居ながらも、

そこではない処へ連れ去られてしまうような時もある世界。

私は生ある限りフラメンコを続けて行くだろう。

フラメンコの希求が高まると共に海のように深い場所や

聳え立つ山の頂にまでも私の追求心を連れ去ってしまうからだ。

「さっきまであった日常も

一瞬でなくなってしまうことは誰にでも起こる。」

そういう現状は今、世界のどこにでも起こっている。

平和への思い。戦争がなくなることへのメッセージも込めて、

そんな祈りの時間が共有出来れば至福の時となるだろう。

小島章司

CAST キャスト



CHICUELO チクエロ DIRECTOR MUSICAL-GUITARRA [音楽監督・ギター]

現代フラメンコシーンでも傑出したギタリストの一人に数えられ、作曲家としても評価の高いフアン・イグナシオ・ゴメズ「チクエロ」は1968年バルセロナ生まれ。12歳でギターをはじめ、地元のペーニャやフェスティバルなどで活躍後、19歳でタブラオ「カルメン」のギタリストとなり、数々の一流アーティストと共演。のちに長年にわたりミゲル・ボベータ、ドゥケンデのギタリストを務め、彼らのアルバムのプロデュースのほか、エンリケ・モレンテやマイテ・マルティン、カルメン・リナーレスらも伴奏。舞踊家ではイスラエル・ガルパンのいくつかの作品の音楽を手掛けて、また1987年より小島章司作品の音楽監督を務めている。また1999年からソロアルバムも4枚リリース。2013年には映画のテーマ曲でスペインのアカデミー賞であるゴヤ賞受賞、2016年からはジャズピアニスト、マルコ・メスキダと共演するなど多角的な活躍を続けている。



EL LONDRO エル・ロンドロ CANTE [カンテ]

1976年ヘレス生まれ。子供の頃から歌い始め、カルメン・コルテス、アントニオ・カナールス、イサベル・バジオン、メルセデス・ルイスら一流の舞踊家たちと数多く共演。またチクエロやアントニオ・レイ、サンティアゴ・ララなどのギタリストのアルバムにも参加。ミゲル・ボベータの公演ではバルマとコーラスで活躍。2010年にソロアルバム発表。1995年より小島章司公演に出演。



CARLOS CARO カルロス・カーロ VIOLÍN [バイオリン]

1965年キューバの首都ハバナ生まれ。キューバで音楽を学びオーケストラやポピュラー音楽のグループで活躍。1994年からバルセロナ在住。バイオリン教授として後進の指導にあたり同時に、エンリケ・モレンテ、ミゲル・ボベータ、チクエロら数多くのフラメンコ・アーティストとも共演。小島とは2013年『運命の力』コルドバ公演で初共演。



DAVID LAGOS ダビ・ラゴス CANTE [カンテ]

1973年ヘレス生まれ。10歳で初舞台。舞踊伴唱を得意とし、クリスティーナ・オヨス、マヌエラ・カラスコ、ホアキン・グリロ、イスラエル・ガルパン、メルセデス・ルイス、エバ・ジェルバブエナらと共演。これまでに3枚のソロアルバムを発表、2014年にはウニオンのコンクールの大賞を受賞し、改めてその実力を知らしめた。舞踊家ダビ・コリアとの作品『ファンダンゴ』も最優秀作品賞受賞など好評。



MALTA ROMA マルタ・ロマ VIOLON CHELO [チェロ]

6歳からチェロを学び始め、バルセロナの音楽学校ESMUSICとボストンのパークリー音楽大学に学ぶ。シルビア・ペレス・クルスら、数多くのミュージシャンと共演し、スペインはもとより、フランス、中南米、日本などで演奏。2018年にはソロアルバムをリリース。またファミリー向けのコンサートの企画やジャズ・チェロの教授活動などでも活躍している。



DIEGO DEL CHICUELO ディエゴ・デル・チクエロ GUITARRA [ギター]

2000年バルセロナ生まれ。フラメンコ・アーティスト一家に生まれ、最高のフラメンコに囲まれて育つ。ドゥケンデやラ・タナ、カリメ・アマジャら一流のフラメンコ・アーティストたちと共演。また父、チクエロのソロアルバム録音にも参加。現在、音楽学校に通う傍ら、バルセロナのタブラオなどでも活躍中。



JACOBO SÁNCHEZ ハコボ・サンチェス PERCUSSION [パーカッション]

1989年バルセロナ生まれ。2010年にカホンのコンクールで優勝。バルセロナのタブラオや劇場を主な舞台として活躍。これまでにチクエロやドゥケンデ、アントニオ・カナールスをはじめとする一流フラメンコ・アーティストをはじめ、ハビエル・コリーナ、マーク・ミラルタなどジャズミュージシャンらとも共演。



ARMONÍA アルモニア BAILE [バイレ]

知念響(和歌山)、漆畑志乃ぶ(京都)、石川慶子(名古屋)のユニット。2009年CAFフラメンココンクールのファイナリストとして出会い、翌年のビエンナーレで3人で初めて踊る。2011年Armoniaを結成、コンスタントに群舞作品を作り続け、2017年フラメンコ協会新人公演群舞部門奨励賞受賞。

■ 知念 響(客演)

西日本の南国で暮らす舞踊手。フラメンコ後進指導を行い、スタジオの経営を行う。日本フラメンコ協会新人公演ではソロ・群舞部門にて奨励賞を受賞。YOUTUBEにてHIBIKITNESSチャンネルも運営する。

■ 漆畑志乃ぶ(客演)

日本フラメンコ協会新人公演にて2014年バイレソロ準奨励賞、2016年バイレソロ奨励賞、2017年群舞部門奨励賞受賞。2013年より京都にてフラメンコスタジオ・ロシオ主宰。

■ 石川慶子(客演)

早稲田大学でフラメンコと出会う。踊りをアデラ・カンパージョ、ベレン・マジャ等に師事。国内各地での公演に加え、本場スペインなどでも公演を行う。「名古屋未来のフラメンココンクール」主催。



YANAGIYA AYUMI 柳谷歩美 BAILE [バイレ]

東京都出身。1998年、小島章司フラメンコ舞踊団に入団。文化庁移動芸術祭「トリアーナ」に参加。『ガルス・ロルカへのオマージュ』に初出演。03年、文化庁移動芸術祭に参加。04年、日本フラメンコ協会新人公演バイレ・群舞部門で努力賞受賞。06年、スペインに渡りイスラエル・ガルパンに師事。07年以降、多くの公演に出演。現在舞踊団の主要メンバーとして活動、後進の育成にも励む。

MATSUDA TOMOYA 松田知也 BAILE [バイレ]

山形県出身。98年より小島章司に師事。2001年、『黒い音』に初出演。03年、文化庁移動芸術祭に参加。04年、来日したクリスティーナ・オヨスに指導を受ける。05年、日・欧市民交流記念ドイツ・ポルトガル公演に参加。08年、日本フラメンコ協会新人公演バイレ・ソロ部門で奨励賞受賞。以降、多くの公演に出演。現在舞踊団の主要メンバーとして活動している。

[会場] 銀座ブロッサム中央会館

[日時] 2024年

11月20日(水) 18:30 開場 19:00 開演

11月21日(木) 14:30 開場 15:00 開演

[料金] 全席指定 S席 15,000円

A席 10,000円

[作・構成・演出] 小島章司
[音楽] チクエロ
[舞台監督・照明] 羽賀義博
[音響] 増井 宏
[衣裳] エイム
[写真] (C)エー・アイ／山崎光彦・岡本彩里
[題字] 加藤 巧
[制作] 株式会社エストゥディオコジマ
[後援] 駐日スペイン大使館
インスティトゥト・セルバンテス東京
一般社団法人 日本フラメンコ協会
一般社団法人 現代舞踊協会
公益財団法人 スペイン舞踊振興 MARUWA財団

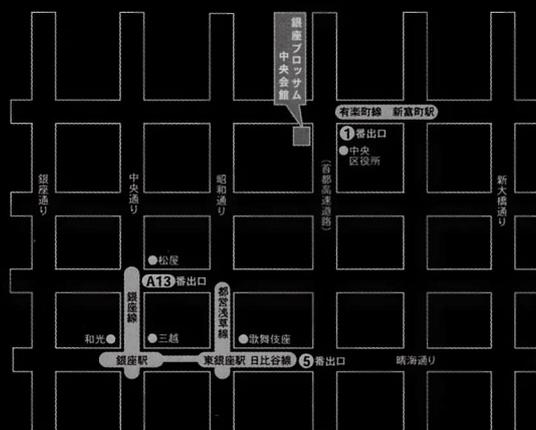


銀座ブロッサム中央会館

東京都中央区銀座2-15-6 Tel.03-3542-8585

東京メトロ

- 有楽町線 新富町駅 1番出口……徒歩1分
 - 銀座線 銀座駅 A13番出口…徒歩8分
 - 日比谷線 東銀座駅 5番出口……徒歩8分
- 都営地下鉄
- 浅草線 東銀座駅 5番出口……徒歩8分



チケットのお申し込み・お問合せ

小島章司公演事務局

TEL.03-3498-0923 FAX.03-3498-5442

E-mail: kojima@shojikojima.com